



2014年3月18日

各位

会社名 マックスバリュ中部株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 芳知  
 (コード番号: 8171 名証第2部)  
 問合せ先 取締役総合企画本部長 小泉 寛  
 (TEL 052-857-0719)

## 業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2013年4月9日に公表しました2014年2月期の業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

また、同期間において、下記のとおり特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

(金額の単位: 百万円)

##### 2014年2月期通期連結業績予想数値の修正 (2013年3月1日～2014年2月28日)

|                            | 営業収益    | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----------------------------|---------|--------|--------|-------|----------------|
| 前回発表予想 (A)                 | 158,000 | 2,950  | 2,950  | 1,250 | 39円48銭         |
| 今回修正予想 (B)                 | 153,000 | 1,600  | 1,750  | 370   | 11円69銭         |
| 増減額 (B-A)                  | △5,000  | △1,350 | △1,200 | △880  | —              |
| 増減率 (%)                    | △3.2    | △45.8  | △40.7  | △70.4 | —              |
| (ご参考) 前期通期実績<br>(2013年2月期) | 134,923 | 1,573  | 1,682  | 41    | 1円62銭          |

※当社は2013年2月期より決算日を1月31日から2月末日に変更いたしました。これに伴い、当期(2013年3月1日から2014年2月28日まで)と比較対象となる前期(2012年2月1日から2013年2月28日)の期間が異なっております。

##### 2014年2月期通期個別業績予想数値の修正 (2013年3月1日～2014年2月28日)

|                            | 営業収益    | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益  | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----------------------------|---------|--------|--------|--------|----------------|
| 前回発表予想 (A)                 | 158,000 | 3,200  | 3,200  | 1,500  | 47円38銭         |
| 今回修正予想 (B)                 | 152,000 | 1,750  | 1,850  | 450    | 14円21銭         |
| 増減額 (B-A)                  | △6,000  | △1,450 | △1,350 | △1,050 | —              |
| 増減率 (%)                    | △3.8    | △45.3  | △42.2  | △70.0  | —              |
| (ご参考) 前期通期実績<br>(2013年2月期) | 134,579 | 1,618  | 1,721  | 113    | 4円48銭          |

※当社は2013年2月期より決算日を1月31日から2月末日に変更いたしました。これに伴い、当期(2013年3月1日から2014年2月28日まで)と比較対象となる前期(2012年2月1日から2013年2月28日)の期間が異なっております。

## ２．修正の理由

２０１４年２月期通期においては、業種業態を越えた競合他社とのシェア争奪や価格競争が激しさを増す厳しい経営環境が続く中、売上高については下期累計で既存比９８.４％（上期累計９６.７％）と、下期に入り若干回復傾向となったものの、年間累計で既存比９７.５％（当初計画９９.６％）に終わり、営業収益は連結・単体ともに計画を下回る見通しとなりました。

荒利益額につきましても、下期は改善傾向に転じ、年間累計の売上総利益率は２４.７％（当初計画２４.６％）と概ね計画どおりの見通しとなりましたが、売上高未達成に伴う荒利益額の不足に加え、人件費や販促費等、経費の削減が進まず、販売費及び一般管理費の伸びが営業総利益の伸びを上回った結果、営業利益・経常利益ともに計画を大幅に下回る見通しとなりました。

当期純利益につきましては、減損損失は７７４百万円と概ね計画どおりとなりましたが、経常利益段階の不足額が大きく、当期純利益についても当初予想を大きく下回る見通しであります。

以上の理由により、２０１４年２月期通期の業績予想を修正いたします。

## ３．特別損失の計上

減損損失 ７７４百万円

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、下期の店舗に係る減損損失は２０６百万円となり、上期に計上した５６８百万円と合せ、通期で７７４百万円を特別損失に計上いたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上